

コンフォタブルストレッチャー「Portas (ポルタス)」新発売

内視鏡検査時に患者さんを乗せ換えることなく前処置・検査・回復まで安全にサポート

株式会社オカムラ

代表取締役社長 中村 雅行

本社 神奈川県横浜市西区北幸 1-4-1 天理ビル

株式会社オカムラは、内視鏡検査時に患者さんを乗せ換えずに前処置・検査・回復まで安全にサポートするコンフォタブルストレッチャー「Portas (ポルタス)」を、2019年2月より発売します。

「Portas」は、消化器内科 外来部門での内視鏡検査において、前処置から検査、回復までを1台でカバーするストレッチャーです。リクライニング機能、高さ昇降機能、大型キャスターを付加し、前処置である服薬や麻酔時の「座る」、内視鏡検査時の「左側臥位」、麻酔回復時の「横になる/リラックス姿勢」、また処置室から検査室への移動まで、あらゆる姿勢を安全にサポートします。患者さんの移乗にともなうリスクが軽減し、病院やクリニックにおけるスタッフの負担も軽減することで、安心・安全で効率の良い内視鏡検査を実現します。

【背景】

日本におけるがんに関する統計(※)によると、胃がんと大腸がんの罹患数は近年増加傾向にあり、最新の胃がん大腸がんの罹患数は、すべての部位のがん罹患数のうち男女ともに上位3位に入っています。胃や大腸の検査にはX線検査や内視鏡検査などがあり、X線検査で異常があった場合は内視鏡検査を行います。技術の進歩により内視鏡検査の精度が向上しており、胃がん検診に内視鏡を導入する自治体や、医療機関での検査件数は増えています。

※国立がん研究センターがん情報サービス「がん登録・統計」ウェブサイトより https://ganjoho.jp/reg_stat/index.html



—コンフォタブルストレッチャー「Portas (ポルタス)」の特徴—

■さまざまな姿勢に対応

幅の広いマットはあらゆる姿勢に対応。簡単なレバー操作で、座る姿勢から寝る姿勢まで自在に変えられます。背上げ時は座面が自動的に傾斜するためズレや圧迫を防ぎ、深く座ることができます。マットは硬さの異なるウレタンを組み合わせた多層構造を採用し、安全で快適な座り心地を実現しました。



レバー、ハンドル

人を想い、場を創る。

OKAMURA



リモコンによる電動昇降機能で、患者さんは乗り降りしやすく、検査時には処置のしやすい高さへ設定可能。本体はバッテリーを搭載し、移動に便利。充電中でも昇降操作は可能です。

■大きなキャスター付きで安全に移動



キャスター
直径 150mm の大型双輪キャスターを採用し、スムーズな搬送が可能。1カ所のペダルを踏むだけで4輪が同時にロックできます。



サイドレール
落下防止の大型サイドレールは樹脂製で清掃しやすく、上げると自動でロックがかかる安全設計。

■安心・安全のための充実したオプション



フットスイッチ
足で踏むことで電動昇降できます。左右どちらにも取り付け可能



イリガートルスタンドセット
点滴つり下げ用の伸縮式支柱（全長 655mm-1100mm）です。ストレッチャーの背面に収納できます



酸素ポンベホルダー
検査時は麻酔を使用するため、緊急時対応として酸素ポンベを取り付けられます

■仕様

耐荷重: 125kg
重量: 80kg
入力電圧: AC100V、50/60Hz
動作電源: 鉛バッテリー
充電時間: 約 6 時間
消費電力: 120W
電源ケーブル長: 3.2m
キャスター: 双輪 直径 150mm
4 輪同時ロック

□オカムラウェブサイト ヘルスケア[医療・福祉施設]総合カタログ 2019-2020「Portas」

<http://gmd.okamura.jp/portal/cv.do?c=27341130000&pg=93&v=OKM05&pp=L>

お問い合わせ

〒107-0052 東京都港区赤坂 2-14-27 国際新赤坂ビル東館
株式会社オカムラ 広報室 鈴木・江藤
Tel 03-6743-4512 070-4351-9853
mail okm_pr@okamura.co.jp